

2021 年 9 月 17 日

一般社団法人日本音楽療法学会
日野原賞選考委員会

第 1 回日野原賞の受賞者が決定しました

第 1 回日野原賞

受賞者 上羽(糟谷) 由香

受賞対象論文 The effect of music intervention on attention in children :
Experimental evidence

掲載誌 Frontiers in Neuroscience, 2020, 14:757,1-15.

第 22 回学術大会において予定されていた表彰式は、オンライン開催となるため執り行いません。学術大会会員集会内において受賞講演を行っていただきますので是非ご視聴ください。

日野原賞は、日本音楽療法学会（本学会）の創設と発展に貢献された故日野原重明初代理事長を顕彰する学術奨励賞として、本年度より創設されました。日野原先生の理念である“keep on going”を継承し、音楽療法の発展に貢献する学術研究や臨床現場での継続的な活動を奨励し、その結果、日本の音楽療法が人々の健康維持・増進に貢献することを目的としております。

受賞の対象は以下の 3 種があり、本年度は対象 A 6 名、対象 B 1 名、対象 C 3 団体の計 7 名及び 3 団体が選考の対象となりました。

対象 A：2020 年 1 月～12 月までに、日本音楽療法学会誌に掲載された原著、または事例研究の筆頭著者

対象 B：2020 年 1 月～12 月までに、国内外の学会誌（第三者による査読のあるもの）に掲載された原著または事例研究の筆頭著者（本学会員に限る）

対象 C：2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日の期間に、音楽療法の普及・発展に貢献した活動を行った本学会員、または本学会員が運営する組織・団体

※BおよびCに関しては、自薦、他薦の推薦書が必要。

選考委員会で第一次選考を行い、3 本の論文著者と 1 つの団体が選考されました。次いで第二次選考で、受賞者を選考し、理事会の承認を得て受賞者が決定しました。

今回は質的研究、量的研究、活動団体と様々な領域から候補が集まりました。候補になった論文はどれも音楽療法の発展に寄与するものであり、多くの会員にお読みいただきたい内容でした。また団体の活動は、いずれも臨床・教育・福祉活動への貢献、また持続性・発展性の高いもので、これら優れた研究・活動の中から一つを選ぶのに大変苦労したことをお伝えいたします。

今後も丁寧な臨床や活動が伝わるような研究活動が発展継続されてゆくことを大いに期待しております。